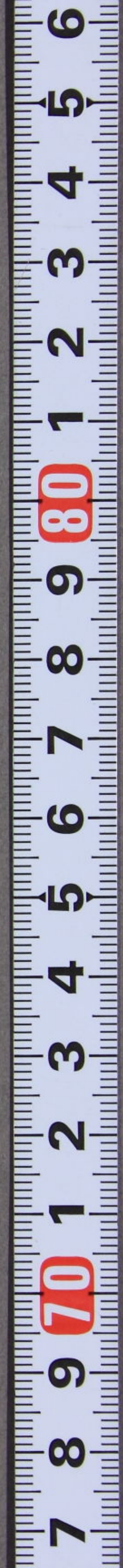


13  
1961  
83



劉子心書

怪說撰者書以子心

心子心

仙傳

大德

遠  
2056  
#22

13  
1961  
833



怪談摸摸夢字彙

○化物虛字之部

媿

女ニ尾ノアルハ  
キツ子トヨム

愴

リツレンベンニツノハ  
心ノ鬼ト云字ナリ

𩇑

カシラノ上ニ血ケルハカフハ  
ト云字テモアラフカ

鳳

カガカニクビスチト云字ヲカキテニコト入道ト云  
クワケハナセトイツテマツセヘクビスチカラセヲ引分

頰

シキヘンニカヒト云  
字ハ子コトヨム

晶

コレハクレガミテモニツ目  
入道ト云字ナリ

眞

井チカニ血ト云字ハタレ  
カミテモサヤ生トヨマフ

組

イトヘンニ目ト  
云字ヲカキテ

緋

イトヘンニクヒハ  
ロクロクビナリ

女

女ト云字ノ白キハ  
ユキ女トヨム

女

女ト云字  
ノコシカラ

志

ム子ノウヘニ手ヲオケバ  
ウチルト云字ナリ

迷

リツレンベンニマヨフ  
トカキテハケモノ

トヨム化物トミルハコシナ文字カ廉  
オホカ多心迷ナリニモアロス

山東庵京傳戯著

享咏二年癸亥子孟春













○壁の耳

おふみありのきこふ目  
ありのうげと成りひ  
うーちがきこふとす  
りびきなどものうら  
つていれおんや  
しふけのさる成れバ  
みとめありのひまき

「ちがひはしなしておれ  
そふちうくのふーち  
ゆのもちあけろろ乃  
ふーやうとおらどいあぶあ  
うららしあうとそりまーか  
かほのほも

まけさ小口まき  
おきかあつてあが  
うーつらうらうら  
まね  
目の下ろ  
まきつひら  
まねがらうと  
まねまよあが



け女  
十二ん  
まきつひら  
まねがらうと  
まねまよあが



京傳作中

萬重

癸亥新板

怪談摸  
摸夢字彙

水











〇 多比女

へび女はたんのくまうらぬまの女をそね  
 かりしてむけものあつちあつちのひまを  
 わやらあつちあつちとてあつちのまうら  
 下くくちとてあつちあつちのまうら  
 つのふけりやうとつひつびとつふてが  
 えつてあつちあつち

つぎのの成  
 ちりけてあつちあつち  
 みまらひままらひ  
 どのらのまうら  
 けやあつちのまうら  
 ねねここのまうら  
 わやらあつちあつち  
 あつちあつち  
 あつちあつち  
 こんがあつちあつち  
 だんまあつちあつち



ねねこ  
 ここのまうら  
 わやらあつちあつち  
 あつちあつち  
 たどけあつち



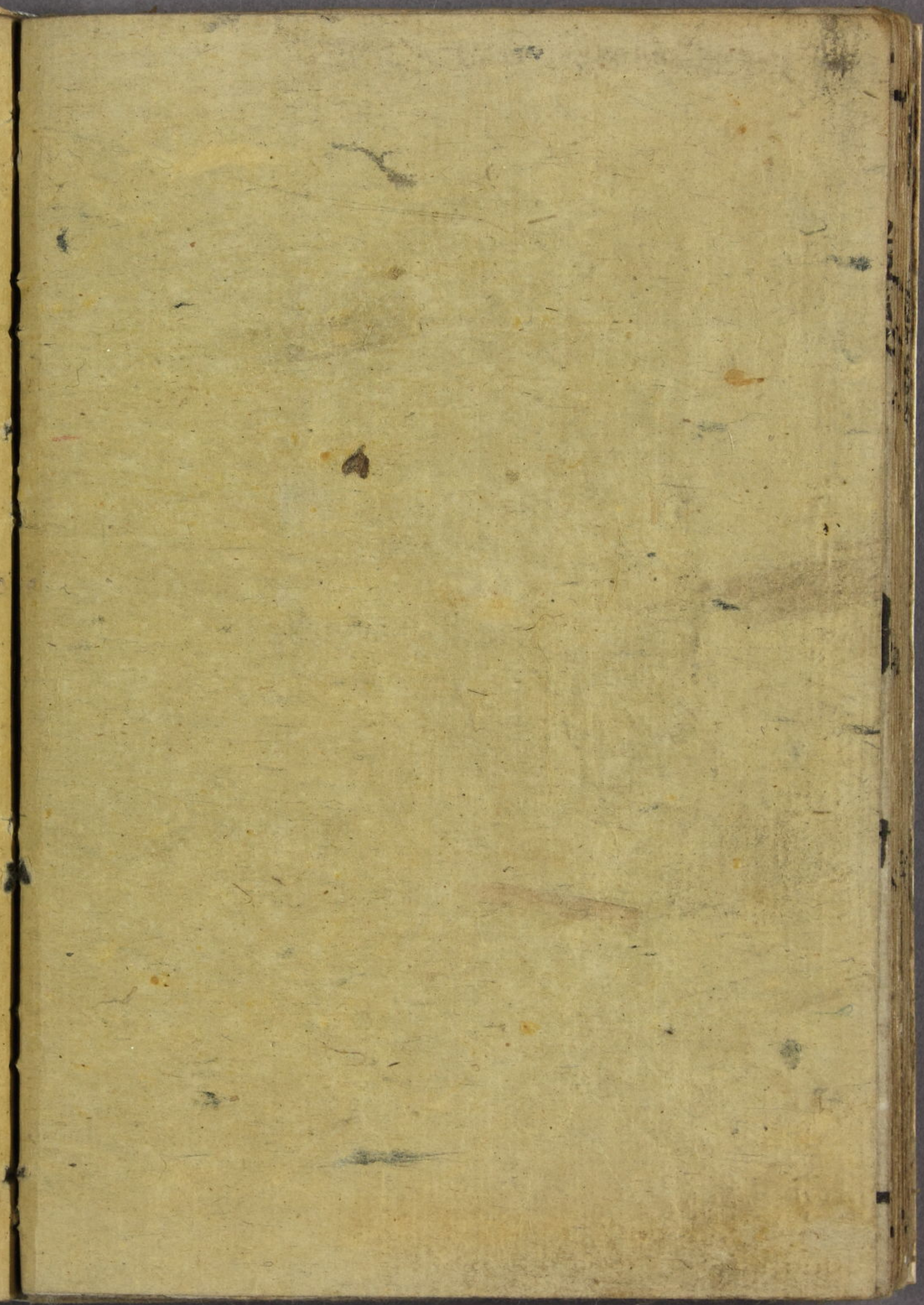
怪談摸

摸夢字彙

癸亥新板

京傳作下

葛重





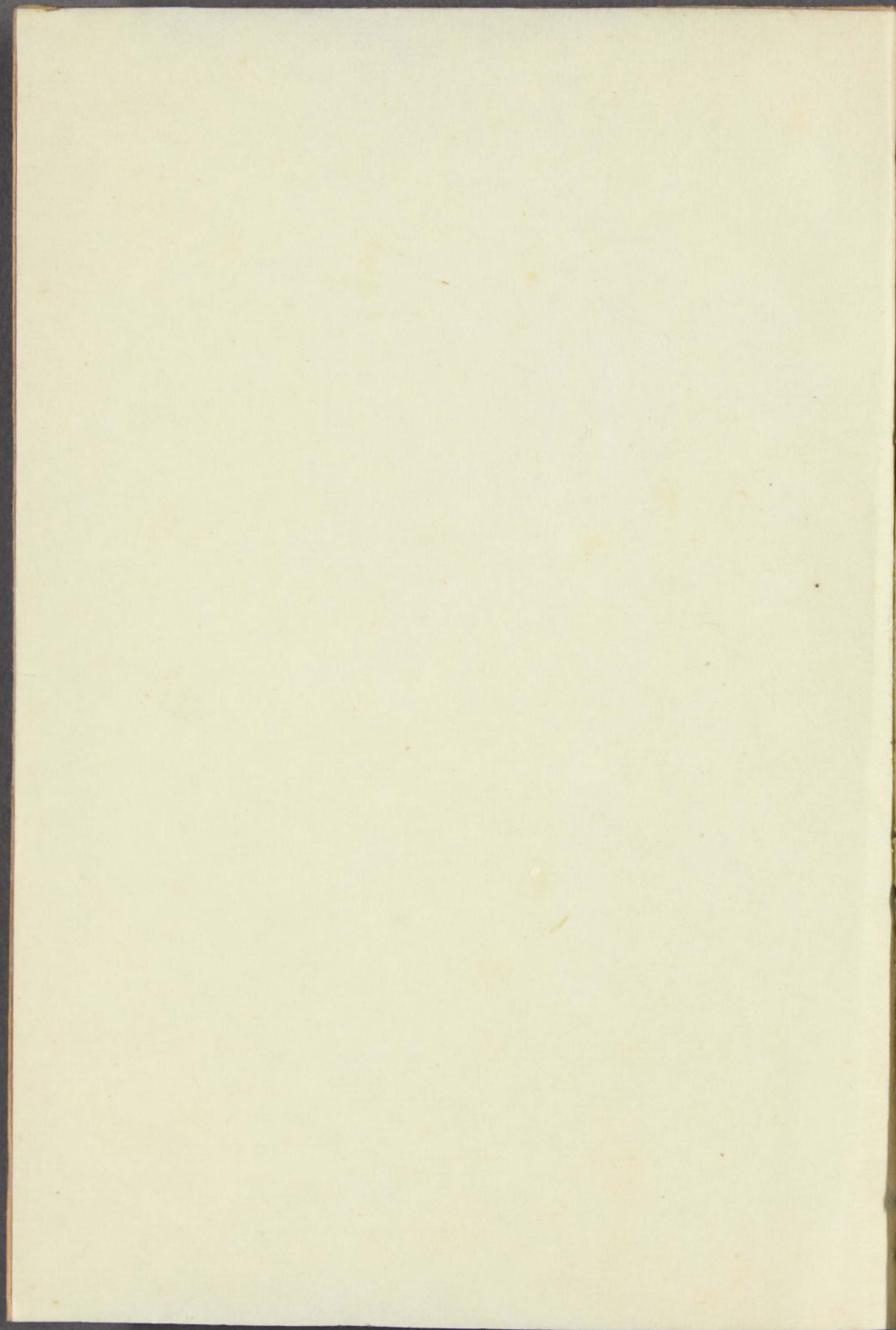












15

15

15



